学校番号	3016

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	2	年次	2
使用教科書	「新　探求現代文Ｂ」（桐原書店）						
教材等	「ちくま評論選」（筑摩書房）他						

1　担当者からのメッセージ

・現代文の力（語彙力、読解力、思考力、表現力、記述力）を発揮するためには、あらゆる知識を総動員する必要があります。社会の多様な事柄に積極的に関心をもち、自分のこととして考える習慣を持ちましょう。
・記述力を培うには、粘り強さが必要です。「何度も書き、読んで添削してもらう」経験を繰り返すこと、この努力において身に付けることのできる力です。
・相当な時間と、精神的エネルギーを注入しないと、「現代文」で扱う内容を捉える力は養われません。真摯に取り組んでください。

2　学習の到達目標

・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価できる。
・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。
・批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。
・収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。
・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a 態度	b 話す	c 書く	d 読む	e 知識		
前期	評論の内容を理解するⅠ	教材: 現代評論文	○	○	○	◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c: 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、c、d、e: 行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	教材: 現代小説 近代小説	○	○	○	◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c: 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、c、d、e: 行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 定期考査
後期	評論の内容を理解するⅡ	教材: 現代評論文	○	○	○	◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c: 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いて	a、b、c、d、e: 行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 定期考査

								いる。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	
	小説の内容を理解するⅡ	教材: 現代小説 近代小説	○	○	○	◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c: 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、c、d、e: 行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 定期考査
	評論や小説の内容を表現する	教材: 近代詩歌 近代小説 近代評論文	○	○	◎	○	○	a: 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 b: 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c:：優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、c、d、e: 行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。